

L-セリンアンモニアラーゼ

Cat. No. EXWM-5277

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この反応を触媒するほとんどの酵素はピリドキサルリン酸依存性ですが、一部の酵素は代わりに鉄-硫黄クラスターを含んでいます。両方のタイプの酵素によって触媒される反応は、水の初期除去によってエナミン中間体を形成することから始まり（したがって、酵素は元々EC 4.2.1.13、L-セリン脱水素酵素として分類されました）、その後、イミン形態へのタウトメライゼーションとC-N結合の加水分解が続きます。後者の反応は自発的に起こることもありますが、EC 3.5.99.10、2-イミノブタン酸/2-イミノプロパン酸脱アミナーゼによっても触媒されます。この反応は、いくつかの供給源からEC 4.3.1.19、スレオニンアンモニアラーゼによっても行われます。

別名 セリンデアミナーゼ; L-ヒドロキシアミノ酸デヒドラターゼ; L-セリンデアミナーゼ; L-セリンドデヒドラターゼ; L-セリンヒドロリラーゼ (デアミネーション)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.3.1.17

CAS登録番号 9014-27-1

反応 L-セリン = ピルビン酸 + NH₃ (全体反応); (1a) L-セリン = 2-アミノプロペン酸 + H₂O; (1b) 2-アミノプロペン酸 = 2-イミノプロパン酸 (自発的); (1c) 2-イミノプロパン酸 + H₂O = ピルビン酸 + NH₃ (自発的)

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間の保管は +4 °C で行ってください。長期間の保管は -20 °C~-80 °C で行ってください。